

健康は健口から

～健康格差の解消をめざして～

7月16日(月・祝)

14:00～15:00

参加費
無料

会場

地域支援センターえがお 2階会議室

(〒514-0803 津市柳山津興 1548 / TEL:059-213-8668)

講師

足立了平氏 (神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 教授)



≪講師からのメッセージ≫

健康で充実した生活をおくるには口の機能を維持することが重要であり、そのためには歯を残すことが必要です。成人期、高齢期の口腔機能は小児期の口腔環境と深く関係しているにもかかわらず、学校歯科検診で要受診とされた生徒の65%が歯科を受診しておらず、口腔が崩壊した状態の子どもも少なからず存在することが各地の保険医協会の調査で明らかになりました。その背景には、経済困窮やひとり親などの家庭状況があります。貧困の増加と格差の広がりや子どもの口腔にまで及んでいます。憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」を営むためにもこの現状を改善していかなければなりません。その解決の糸口について一緒に考えたいと思います。



募集人数

50名(先着順)

募集対象

どなたでも参加できます。

応募方法

下記「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、FAX送信または、お電話で参加のお申込みをお願いします。

●7月16日(月・祝)「健康は健口から～健康格差の解消をめざして」参加申込書●

三重県保険医協会 / FAX番号 : 059-225-1088

/ TEL番号 : 059-225-1071

■ 7月16日(月・祝)開催の設立記念講演会

「健康は健口から～健康格差の解消をめざして～」に _____ 名 参加申し込みします。



参加代表者 _____

連絡先 _____

「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会 のご紹介（結成趣旨）

“おいしく、楽しく食べる”ことは、人生を豊かにするとともに健康の基本です。口腔の健康を保障し、人生を豊かにするためにもお金の心配をすることなく、保険で安心して充実した歯科医療を受けられる事が望まれています。

しかしながら現状では、患者さんにとって必要な歯科治療が保険で行なえないことや、窓口負担が高いために受診を躊躇することなどが報告されています。また歯科医療機関においても長く続く政府の「低医療費政策」により、保険診療の点数が低く据え置かれたままになっており、新しい技術もなかなか保険で認められず、歯科医院の経営は年々厳しくなっています。さらにそのような状況の中で義歯や冠を作る歯科技工士は低収入・長時間労働のもと離職・廃業する人が後を絶ちません。

安心して歯科医院を受診できることや保険のきく治療範囲を広げることは、患者・県民、歯科医療関係者共通の願いです。

私たちは、このような状況を乗り越え、歯科医療を受ける側も提供する側も保険で安心して受診・治療できる歯科保険医療制度を実現するために患者・県民と歯科医療関係者で「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会を結成します。

「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会に関する Q&A??

Q1. 「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会とは？どのような活動をするの？

A1. いつでも、どこでも、だれもお金の心配をせず、保険で歯科治療が受けられるよう、保険のきく治療範囲を広げるための活動や県民の皆さんへ歯科の宣伝、学習、啓発活動などを行います。

Q2. 連絡会はほかにどこにあるの？

A2. 三重連絡会のほか、東京連絡会、千葉連絡会、長野連絡会、愛知連絡会、大阪連絡会、兵庫連絡会、京都連絡会（5月結成予定）、大分連絡会の計1都7府県に連絡会があり、連合体に全国連絡会もあります。



「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会

〒514-0062 津市観音寺町 429-13 三重県保険医協会内

TEL : 059-225-1071 / FAX : 059-225-1088

【 加盟団体 】

三重県保険医協会・三重県民主医療機関連合会・みえ医療福祉生活協同組合・三重県労働組合総連合・
三重県商工団体連合会・全日本年金者組合三重県本部・三重県生活と健康を守る会連合会